

今日の頃

都留文科大学初等教育学科助教授 中村 和雄

今年で私も満四十二歳になる。身体のがやや気になる今日この頃である。何となく今年七月に都留市で実施された集団検診を妻共々受けてみた。冷やかし半分と思っていた検診の結果通知が九月に自宅へ郵送されてきたが、「精検」の文字を見て冷や水を掛けられた思いがした。身体のがややになる今日この頃とは書いているが、二十の頃から体力に自信のある私には不意に訪れた招かれざる客と言ったところであり、頭に熱い血が上る思いをした。一緒に配達された妻のほうは気楽なもので、表情一つ変えないで、異状なし、健康ですよとの結果に当たり前だという態度である。やけに長く感じた一、二分の沈黙の末、私の検診結果を妻に知らせた。脂肪肝と左腎臓のエコー不鮮明のため精密検査の上、治療が必要であること。次に起こったことは皆さんご存じの通りで、妻から日頃の生活（特に飲酒のこと）と健康管理（車を使い過ぎること）について講義を聞かされた。

二十の頃と比べ確かに四十歳を過ぎる頃から体力の違いに気付いてはいた。そして、それに正比例するかのうちに私の気持ちの中から気力というか若さと言ったものがジワジワと染み出すように無くなるのを実感する。それは、社会を知り、自分を知り、若さゆえの無謀を自制することで、一見落ち着きが出たと一般には評価されるのであろう。しかし、私の生業は彫刻を制作ことであり、造形美術を大学で講義することである。体力の減少は年齢との相関で致し方ないことではあるが、気力（若さ）の減少は造形する者にとって致命傷と成り得る問題である。気力即ち若さはいかなるものなのか。体力と共にあるものが若さなのであろうか。二十の青年が特権として持つものであり、四十の壮年がその特権を剝奪されることが自然の摂理なのであろうか。

私は大学で毎日のように学生即ち若者達と接するのであるが、一つ、気になることがある。それは、学生達が若者なのであろうかというバカげた疑問である。学生達の生活態度や会話がそれこそ老人じみていると私には感じることもある。若者らしい真理の探求やそこから導き出される正義感、そして、そのため我武者羅に進進する力が感じられない。老人特有の何か諦めに近い悟りすら感じられる。既成概念を振り捨て、自らの目であらゆる事物をじっくり観察する。そこから発見された真実は真理となり、観察者に深い感動となり波のように押し寄せる。感動の波は幾重にも重なり、自らの心の中に宝物のように蓄積され続け、それがあふれ出るように創造的行動へと駆り立てる。私の知る一部の学生達は、このサイクルのどこかに欠陥があるのであろうか。この事実を逆説的に捉えれば、体力はいかんともしがたいが、たとえ五十、六十であっても気力（若さ）は十分に保ち得るということであり、まして、四十を少し過ぎたばかりの私は努力次第でまだまだ若者として通用するということではないか。それには、深い感動の波を心に精一杯貯えることである。

ここまで読まれた皆さんからは次の質問が出るであろう。何を見て（観察して）感動するのか。十人十色、一概に言えないものであることは確かである。一般的には、感動は人工的なものからよりも自然から受ける率の高いものである。満天の星空、荒波の押し寄せる海、夕焼けを背に浮かび上がる山々、朝もやに流れる清流。心動かされずにはいられない光景ばかりである。やはり感動の基は自然が多く、数限りない。振り返ってこの都留市をみれば自然の宝庫である。感動できる素材が満ちている。私と

同じ心の老人は、この素材をただの風景と捉えずに、若さの源と捉えたいものである。

先回の「異文化を考える」(林信義教授執筆)の原稿に、広報の性格上、難しい漢字に付したふりがなに誤りがありましたのでおわびして訂正いたします。
(誤)熾火 ↓ 熾火

NHK学園の 通信教育で勉強を

NHK学園では、全国どこにいても入学できる平成五年度の高等学校の生徒と専攻科の学生を募集しています。

中等高等学校
普通科コース(通信教育)
三年間の学習で高卒資格が取得できます。

専攻科
専攻科コース(通信教育)
希望科目を学習して、単位が取得できます。

中等高等学校
専攻科(コミュニティ・スクール)
社会福祉コース
高校卒業後、二年間の学習で「NHK学園福祉ボランティア」の認定資格が得られます。

専攻科
専攻科コース(コミュニティ・スクール)
社会福祉コース
高校卒業後、二年間の学習で「NHK学園福祉ボランティア」の認定資格が得られます。

専攻科
専攻科コース(コミュニティ・スクール)
社会福祉コース
高校卒業後、二年間の学習で「NHK学園福祉ボランティア」の認定資格が得られます。

専攻科
専攻科コース(コミュニティ・スクール)
社会福祉コース
高校卒業後、二年間の学習で「NHK学園福祉ボランティア」の認定資格が得られます。

☆詳しい案内書をご希望の方は、
〒186-01 東京都国立市富士見台2-36 NHK学園8E11係に、コース名およびあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号をハガキに記入してご請求ください。
☎0425(72)3151(代表)
※案内書は無料です。

学生アパートをお持ちの方へ

平成五年度新入生アパート入居者募集をされる方は、次によりお申し込みください。
申込方法
1月5日(火)～2月1日(月)までに、教務厚生課学生係窓口にて、申込用紙が用意してありますので、空部屋数、男女別、部屋代等の入居条件を記入し提出してください。

申込先
都留文科大学教務厚生課学生係
☎(43)4341内線218